

感染症情報 9月10日～16日

府下小児科200医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	718例(堺市	32例)
②RSウイルス感染症	662例(堺市	58例)
③溶連菌感染症	283例(堺市	44例)
④ヘルパンギーナ	248例(堺市	19例)
⑤手足口病	134例(堺市	14例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	47例(堺市	3例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比3.4%減の2,344件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下RSウイルス感染症、溶連菌感染症、ヘルパンギーナ、手足口病の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より2%減、堺市では前週より3%増であった。RSウイルス感染症は府下で前週より5%減、堺市で70例→58例は17%減であった。溶連菌感染症は府下で前週より1%増、堺市では前週28例→44例(57%増)であった。ヘルパンギーナは府下で前週より15%減、堺市で16例→19例であった。手足口病は府下で前週より7%減、堺市では前週16例→今回14例であった。

インフルエンザが府下で前週15例であったのが、今回47例になっている。堺市は2例→3例であった。

麻疹の報告はなかったが、今回も風疹が3例あった。